

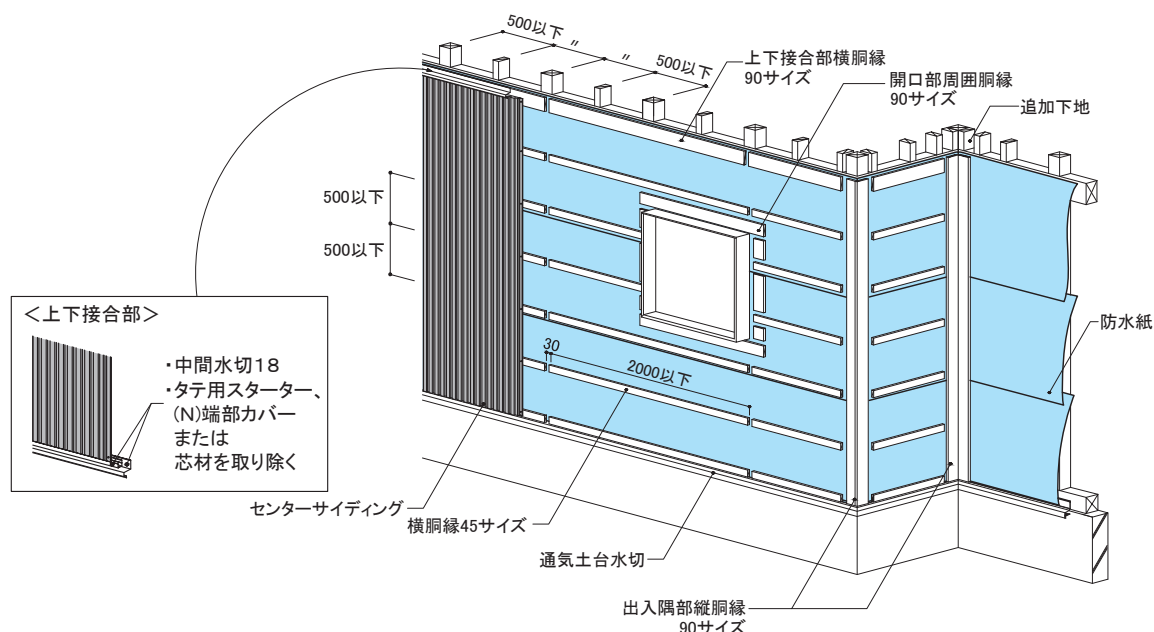
1 センターサイディング標準施工法

1-14 胴縁下地組み

5) 横胴縁仕様

- 横胴縁は2000mm以下の間隔で30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。
- 横胴縁と出入隅部・開口部まわりの胴縁に、30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。
- 入隅部や出隅部などで胴縁が躯体に留め付けられない場合は、追加下地を設け、必ず下地に留め付けます。

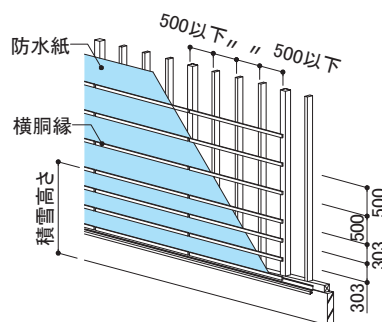
※耐火構造とする場合は、耐火構造認定書の別添の通りとしてください。



積雪地域での胴縁組み

- 積雪地域では、雪の積もる高さまで補強のために横胴縁を303mm以下の間隔で留め付けます。

※下屋根部分も同様の胴縁組みをしてください。



注意 下図のように2000mm以下の間隔で30mm程度の隙間を設けて施工してください。通気ができないと不具合の原因となります。

